

善意の窓

4月はじめに神戸市在住の匿名の方より国際交流ボランティア活動の支援にと、現金43万円に下記のお手紙を添えて当事業団に届きました。

ご趣旨に沿って全額をラオス子どもの就学の夢を叶えるダルニー奨学金に“OOTANI YUKIKO MEMORIAL”のお名前で寄付させていただきました。これは現地の中学生14人、3年間の就学資金になります。ご好意に厚くお礼申し上げますとともに、今後ますます国際交流ボランティア活動に精進する所存でございます。

三井ボランティアネットワーク事業団様

桜のたよりが各地から届く季節となりましたが、貴事業団におかれましては、益々御清祥のこととお喜び申し上げます。

さて、突然のお便りで恐縮ですが、過日65歳になる主人が他界いたしました。突然の別れに心の置き場所が定まらない日々ですが、思い起こしますと、現役時代には海外赴任も経験し、「現地の方に大変お世話になった、いつか御礼をしたい。」と折に触れて申しておりました。

貴事業団では国際交流に関するボランティア活動の支援をなさっているとお聞きしましたので、その活動の一助になればと思い、いただきましたご香料を送金させていただきます。どうぞ故人の感謝の気持ちということで、ご受納下さい。

貴事業団の益々の御発展を祈念しております。

(原文のまま転載)